

資料1 第9回党大会政治報告（抄訳）

著者	山田 紀彦，矢野 順子，ケオラ スックニラン
権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
シリーズタイトル	情勢分析レポート
シリーズ番号	16
雑誌名	ラオス人民革命党第9回大会と今後の発展戦略
ページ	107-124
発行年	2012
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00014698

第 9 回党大会政治報告（抄訳）

訳者：山田紀彦／矢野順子／ケオラ・スックニラン

今大会のスローガンは、「全ラオス人民の一枚岩的団結と党内統一を強化し、党の指導的役割と能力を高める。刷新路線を執行する上での突破口となる段階を形成する。2020 年に国家が貧困から脱却するための強固な基礎を建設する。引き続き社会主義の目的に向かって前進する」ことである。

はじめに、今後 5 年間の目標と方針を正しく定めるため、われわれは第 8 回党大会決議の執行状況を客観的に総括し、価値ある教訓を学ばなければならない。

1. もっとも重要かつ基本的な成果は、われわれが独立、主権、不可分の領土の防衛を堅実に成し遂げたことである。政治体制は強固で安定し、社会はおおむね平静で秩序が保たれた。

このような成果は、われわれが社会全体による全面的な国防と治安維持という路線を集中的に執行したことによる。たとえば、4 つの内容と 4 つの目標に沿った村・クムバーン建設と連携した政治基層建設を行い、また開発と国防・治安維持、政治闘争、外交を緊密に結びつけた。その結果、市民生活にとってより良い環境が整い、国内外の投資家の信頼を得ることができた。

2. 経済・社会開発は多くの分野で新たな成果を収めた。過去 5 年間の平均経済成長率が 7.9%，2009/10 年度の 1 人あたり国内総生産平均は 870 万キープ（約 1069 ドル）となった（目標超過）。村・クムバーン建設にともない、人民の貧困解決に一定の効果がみられ、全国の貧困世帯は 2002 ～ 2003 年の 27.7% から 2009 ～ 2010 年には 20.4% まで削減された。また開発村建設と村の統合は積極的な成果を収め、一部の大規模村は経済・文化開発の中心であ

ると同時に農村地区における小都市となった。特筆に値するのは、国家建設資本の獲得にとって重要な株式市場を開設したことである。

わが党は、諸経済部門の役割や能力を力強く発展させることで、社会主義の方針に沿った市場経済建設という政策を執行してきた。また、国家の経済管理能力と効率を改善し、自然資源管理と環境保護を厳格に行った。同時に、土地分配政策を実施して土地や自然資源の持続的な活用に関する政策を公布した。

要約すれば、わが党は創造的かつ主体的に経済分野の刷新を指導し、正しい方針により発展を遂げてきた。そして、多数の人材が育成されレベルの向上が図られた。工業化・近代化のための基本的な諸要素が現れ、持続的で安定的な経済成長へと転換しつつある。

経済と同様に、わが党は人材開発を優先とする社会政策も適切に指導した。教育改革は初期段階における成功を収め、教育は全社会的事業となり、諸経済部門や社会階層が幅広く参加した。また公衆衛生政策も実施した。たとえば農村への公衆衛生サービス網の拡大や、母子保健の促進などを通じて伝染病をコントロールし、母子の死亡率は低下した。国民の寿命も伸びている。

一方、国家と各民族の文化が大切に守られ、テレビや各種通信手段の拡大により人民の文化生活レベルも上昇している。社会面では、たとえば国家や革命に貢献した人への報恩感謝をこれまで以上に適切に実施し、月給や諸手当を引き上げるなどの改善がなされた。雇用の創出や労働者の利益保護に対しても一層の注意を払った。

3. 党は段階的な法治国家建設という方針に沿って、中央国家権力機関と同時に基層級の政治システムの改善を指導してきた。それによりわが国の政治システムは安定した。

国会は組織や業務様式を適切に改善することで、立法府として、また多民族人民の権利や利益の代表としての役割を積極的に果たし、国会や議員に対する人民の信頼も高まっている。政府と地方行政機関は法律に沿った国家・社会管理を日々効率的に実施し、行政事務や行政サービス手続きを徐々に改善している。また、管理級の分掌（権限の明確化―訳者）を行い、中央と地方部門の間の協力メカニズムがより明確で協調的になるよう修正した。村を含む地方の国家行政機関は、村・クムバーン建設や政治基層建設を実施することでより強固

になっている。人民裁判所や人民検察院は組織や活動が改善され、訴訟審議が敏速かつ客観的で、公正に行われるようになった。

各級の国家建設戦線は、新時代における統一戦線業務を主体的に実施し、ラオス人民の団結と統一を幅広く形成すると同時に、海外在住ラオス人を含む社会の諸階層を、基層の貧困解決など党と国家の路線の執行に動員した。

4. われわれは、全方位、多国間、多様なレベル、党、国家、大衆組織や経済、文化、国防・治安維持分野の外交関係拡大方針に沿って、平和、独立、友好、協力的外交路線を実施し成果を収めてきた。

わが党と国家はベトナム社会主義共和国との多大なる友好関係、特別な団結、全面的協力関係を終始堅持してきた。特筆すべきは今後両国人民、特に若者が両国関係の美しい伝統を守り発展させていくための学習・教育書として、過去数十年における共闘と特別な団結の歴史を編纂したことである。またわが党と国家は、ラオスと中国の両人民間の友好と伝統的団結を積極的に強化し、持続的で全面的な戦略的協力関係に基づき、両国間のあらゆる面での協力関係を促進した。一方、ASEAN 諸国との協力も緊密になっている。

5. 過去 5 年間、わが党は政治思想、組織、指導様式分野において主体的に自己改革を行ってきた。わが党は社会を領導する強力な政治勢力であり、刷新路線に沿って 2 つの戦略的任務を執行し、多くの分野で着実に新たな成功を収めてきた。新しい条件下での指導に適合するように、国内外の理論研究と実践総括業務は改善され、党が路線や計画を正しく、かつ適切に修正する上での助けとなっている。

党中央と各級党委員会は、基層人民や実際の業務と密接な指導様式を堅持し、実施してきた。党は思い切って考え、実施し、責任を持つことを推進するとともに、模範的リーダーとなる党員の拡大を進めてきた。同時に、新しい条件に適した職員業務についてこれまで以上に注意を払った。ここ数年の特徴は、郡級と基層級に職員を増やしたことである。政治行政学院で育成された幹部や、専門知識を持ち、実際の業務経験から学んだ各級の指導幹部の数も増加した。

党と国家における検査業務は改善されレベルが向上している。検査により多くの党委員会と党職員の長所を伸ばすとともに、党や国家組織また社会で生じ

る否定的現象を多くの分野で解決している。

党には領導・指導において解決しなければならない問題がある。

1. 第8回党大会決議を、部門や地方の具体的なプロジェクトに展開する際の指導が一部遅れた。特に、商品生産を促進して家族に収入をもたらし、人民の貧困を解決することはいまだ目標に達していない。

2. 2つの戦略的任務の執行は一部の分野で調和していない。中央と地方部門、また一部の人民は国防・治安業務に主体的に参加する自覚がない。一部大都市における社会不安や否定的現象が総力をもって解決されていない。

3. 経済成長はいまだに天然資源の採掘と輸出に大部分を依存しており、安定していない。一部の公共投資プロジェクトは重点方針に沿っておらず効果的でない。農業の生産性はいまだ低く、加工業や軽工業の発展は小さい。マクロ経済管理は一部の分野で厳格ではなく、計画や財務規律違反はいまだに拡大している。

4. 社会開発は一部の分野が経済とバランスがとれていない。精神面における文明化も、物質面における発展や社会変化とバランスがとれていない。各階層間の収入格差が拡大傾向にあり、都市と農村、特に遠隔地域との開発レベルの格差はいまだ大きい。

5. 国家管理や社会管理は法の規定どおり厳格に行われていない。各級国家机关の市民へのサービス提供は不便で迅速でもない。組織機構や規則、また一部活動メカニズムは官僚的で不透明であり汚職の抜け道となっている。

6. 国家建設戦線とその他大衆組織は積極的に自己改革を行っておらず、活動内容や形式がいまだに国家行政機関と重複している。

7. 外国との合意事項の実施が遅く、有償援助プロジェクト管理や外交活動に対する指導は、中央集権的に統一して行われていない。

8. 党建設や職員育成業務は一部の面で深まっておらず、新しい条件下での政治任務と国家行政管理の要望に応えていない。党内民主と党員の主人権の促進は、明確な指導方針を欠いており深まっていない。中央級の省・機関党委員会や地方党委員会の一部は、民主集中原則を緊密に執行していない。また、業務と責任分担が明確でない。同志が同じ理想を共有することで実施される党内闘争や、自己批判・相互批判が減少傾向にある。不正を行った者に対する紀律処分が、決然かつ適切に行われていない。一部党員の政治的資質と革命的道徳心は後退し、浪費や職権乱用、汚職を行う者が少なくない。

われわれは、党内の未解決問題を厳粛に受け止めなければならない。重要なことは、原因を見つけ出してそれを取り除き、問題解決への確固たる意志を持つことである。問題は次のような客観的かつ主観的な原因から生じる。

1. 党路線の普及や学習がいまだ深く行われておらず、（党路線の一訳者）業務計画化やプロジェクト化が主体的かつ責任を持って行われていない。

2. 事業やプロジェクトの優先づけが、重点方針や投資分野の優位と齟齬をきたしている。

3. 創造的主体性が高くなく、考える勇氣、実施する勇氣、責任を持つ勇氣がないため、党決議や国家機関の命令は一部の面で厳格に実施されていない。

4. 国家公務員数や質の向上が新しい時代の業務需要に応えていない。月給やその他の公務員支援策は、任務を達成するという彼らの気持ちを後押ししていない。

これまでの教訓は以下のようにまとめることができる。

1. ラオス人民の一枚岩的団結心と党内統一の強化は、政治の安定を保証するための基礎的要素である。それができてはじめて、2つの戦略的任務の執行と国際社会への統合にとって、安全かつ秩序ある社会環境を構築できる。

2. すべての業務分野に対して、党の役割と指導能力をバランス良く強化する。これは党路線を執行し実現するための重要な条件である。

3. 各級や部門の党委員会の統一的で現実と密接にかかわった指導や指揮に加え、職員の知識や能力向上に配慮し、高い責任感を持って任務を執行できる党員・職員を模範的リーダーに育てることは、党路線や決議執行の成功を保証するものとなる。

4. 基層に下りて現実と密接にかかわり、各執行段階に対して系統的な検査・評価を行う。問題解決においては高い自覚と決意を持ち、実際の状況に即して問題を捉えるようにする。

5. 平和、独立、友好、協力という外交路線を終始堅持するとともに、外国との合意事項の執行にとってよりよい国内環境を構築する。

わが党は、国家が2020年に最貧国を脱却するよう責任と指導能力を向上しなければならない。まず2015年に目標の一部を達成するための指導を行う。

1. わが党を中核とする人民民主主義体制を強化し民主的にすることで、政治的安定が確固たるものになる。国民の一枚岩的団結と民族間の融和が揺るぎないものとなり、社会は平静で基本的秩序を維持する。

2. 年間GDP成長率は平均8%以上となり、2015年には1人あたり1700ドルとなる。経済開発、環境保全、工業化・近代化戦略の実施とバランスのとれた社会・文化面の開発を行うことで、開発を持続的なものに転換する。

3. 2015年までに貧困世帯率を全世帯の10%以下とする。初等義務教育体制を実施し、多くの市民が前期中等教育レベルを修了する。寿命が68.3歳となる。国連ミレニアム開発目標を達成する。国民の文化が素晴らしい価値を保ち、より豊かになるよう振興する。

4. ラオス人民民主共和国は国際的に多くの友人を持ち、地域統合や国際統

合過程に主体的に参加する。

以上の目標を達成するため、以下のような総合任務を定める。党と国家の政策方針の実施における指導力を強化する。安定的かつ持続的で適切な成長率を保証することで、発展のための変化を作り出す。全面的刷新のための指導を堅持し、6つの原則に沿って正しく実行する。突破口となる段階の構築に向けて創造的に総力を発掘し、時機を利用する。

第 1 に、教条主義や怠惰、極端な思想から解放されることで、思考面における突破を成し遂げなければならない。党決議を達成するために、創造性や勇気を持って考え、行動し、責任を負うという見解を促進していかなければならない。第 2 に、人材開発面において力強く突破しなければならない。特に開発の需要に応えるため、さまざまな分野において職員の知識と能力を向上させる。第 3 に、商業生産やサービスを低下させる要因となる、抑圧的な行政管理体制や規則を解決することにおいて突破しなければならない。第 4 に、多様な資本を発掘して集中的に投入すること、実際に職員を動員すること、特別な推進政策を実施することをとおして、人民の貧困問題解決における突破を成し遂げなければならない。同時に、他の地域における開発の推進力となるような経済・社会インフラを建設する。

このような突破の精神に基づき、今後 5 年間は全党、国家、武装勢力、人民は以下の重点任務と業務方針を執行しなければならない。

1. 引き続き経済開発を中心に据え、生産力の力強い発展を可能とする環境を作り、自然経済を商品経済に転換し、社会主義の方針に沿った市場経済建設を徐々に完成させる。

当面は、これまでの経済分野における刷新の総括から教訓を学び、各経済部門が法の下で平等に活動できるよう法規や規則などを修正し、さらなる適切化を図る。それにより生産力が拡大し、国際統合における競争力を獲得することができる。

国家経済部門については、国家経済・社会開発において国有企業が他の経済部門とともに原動力となるよう強化する。今後は、合併または株式会社化、条件の揃った国有企業を上場させることで効率化や近代化を図る。また、必要かつ効果的な実施能力や条件の揃った分野において国有企業の設立を研究する。同時に、国民の集団経済部門、家族経済単位、国内外の民間企業を含めた中小企業を振興し、国家経済基盤に一層の競争力を持たせる。

2. 商品生産の促進と農村開発の実施により人民の貧困を基本的に解決する。

わが党は、貧困解決や幸せな家族生活の構築、また農村開発を短期的および長期的な総合重点任務とみなしている。人民の貧困解決にとって喫緊の課題は、生産や生活に寄与する基礎インフラ建設であり、商品農業生産（栽培や畜産）に関する知識を提供することである。地方や基層は栽培や畜産、またサービスにおける自らの優位性を研究し、それに基づいた開発政策を決定しなければならない。

目標どおりに貧困を解決し、2015年にミレニアム開発目標を達成するには、外国人投資家を含む各経済部門が貧困地域の農村開発に投資するよう特別促進政策を速やかに研究し、公布しなければならない。したがって貧困地域や、中央、県、郡の開発重点地域を明確に定める必要がある。なかでも革命の拠点、国防や治安維持重点地域、自然資源や環境保護区、定住地や生活居住地分配地区を重視する。また、重点地域の大規模村を経済・社会開発の中心とし、農村における小都市とするという方針に沿って開発村建設を促進する。

3. 複合農業を発展させ食糧安全保障を確保する。森林の保全と再生により被覆率を向上させ緑地面積を拡大する。

農林業は国家経済構造の基本部門である。清潔で、近代的で、生産性の高い農業に転換しなければならない。今後は、十分な食糧生産地と食糧安全保障を確保するため、全国の農業用地の分配を速やかに完了する。もっとも重要なのは、灌漑システムの向上と持続的な水利用管理の改善であり、農業促進センターや農業開発センター、および農民グループを形成することである。また農業分野の近代化のため、灌漑や加工業における国家級プロジェクトに着手しなければならない。

伐採や森林開発問題解決のため、今後われわれは森林管理にこれまで以上に配慮し、国土の大半が緑化されるよう体系的な手段により、緑地帯を拡大していかなければならない。

4. 工業化・近代化への転換戦略を執行し、資源をより効果的に配分し活用する。

工業化と近代化は短期的かつ長期的な任務である。わが国では、条件と能力が整った有力な部門や地域から実施しなければならない。工業化と近代化において、農林産品加工業の拡大、各種エネルギー開発や森林保全をともなった水力発電開発、たとえばバイオエネルギーや太陽光エネルギーなどの代替エネルギー開発を優先事項とみなす。また、鉱工業開発を継続し、今後国家が資本能力を持ち、主体的に国家開発を実施していく上で必要な初期資本の蓄積に資することからはじめる。

多様な形態の経済特別区を建設し、原材料や労働力が豊富な地域を工場建設のための特定地域に定める。周辺地域の開発を誘発するような都市計画を作成する。経済開発地帯マスタープランや、近隣諸国との国境地域開発総合計画の執行に主体的に参加しなければならない。また、自然、文化、歴史観光を促進するとともに、わが国を地域の輸送ハブに転換する。

5. 経済に対する国家の管理能力と効果を高める。積極的な推進力となるよう規則や制度、経済管理メカニズムを改善する。

中央の省・機関はマクロ管理に集中しなければならない。第 1 は党大会決議執行計画や開発戦略の作成、第 2 は政策や法律の公布、第 3 は職員育成計画の作成、第 4 は科学研究と新しい科学技術の普及、第 5 は管轄範囲の各種法律、政策、業務が正しく執行されているかどうか、地方や基層単位を検査・監督し彼らを支援することである。

市場経済の長所を伸ばすため、政府は巧みな調整と管理を行わなければならない。また、経済発展が方針に沿って正しく進み、多くの分野で均衡を保てるよう市場経済の否定的側面を取り除く。地域間や持つ者と持たざる者の格差が拡大することのないよう、開発を拡散させなければならない。したがって、国家は所得分配を合理的に調整し、多くの人々が十分な生活を送れるよう公正か

つ全面的に富を分配する。そうすることでのみ、持続的で社会主義の方針に沿った開発が行えるのである。

調和と持続的開発という方針を堅持していくために、今後は国家教育制度開発や人材育成を社会・文化開発の中心かつ重点業務とする。

まず、職業労働者、技術者、専門家、エンジニア、管理・事務者、起業家やマネージャーなど各種人材の質を高め、党・国家や社会全体の需要に応えるのに十分な人数を育成する。そして、特に職業訓練教育への各経済部門と各階層の参加を引き続き促進する。

識字教育とともに、商品生産のための栽培や畜産、保健衛生の原則に沿った正しい食生活についての学習や研修を実施し、特に農村地域の人々が貧困を解決し、ミレニアム開発目標を達成できるよう教育を幅広く推進する。

われわれは国家の知力を力強く向上させなければならない。思想、革命的道德心、人生観、進歩的世界観を持つラオス人を育成し、国民文化を継承・発展させ、世界の諸国民の文化から価値あるものを受け入れる。そして、精神的に文明化した人間を育成する。

国民が強い身体を持ち健康であるために、病気予防や健康促進、質の良い治療と全面的な公衆衛生サービスの提供を重視した、公衆衛生政策を執行しなければならない。貧困者や機会に恵まれない者を対象に無料診療を行い、山岳・遠隔地まで届くよう農村に公衆衛生サービスネットワークを拡大する。サービス利用者の選択肢が増え満足度が高まるよう、特に首都やその他都市部において、近代的健康サービスや医療分野開発への民間の参入を促進する。

社会問題の解決は開発が良い成果を生むことにつながる。したがって、失業、汚職、麻薬問題、所得格差、男女不平等、家庭内暴力、人身売買などの否定的問題をはじめとする社会問題の解決にも努力しなければならない。われわれは、国家解放闘争や国防、また新体制建設事業に貢献した人への報恩感謝政策の執行を堅持する。並びに、給与や年金体制、また公務員やシニア革命家職員に対するその他の政策も改善しなければならない。

わが党はこの新しい条件下において、国家権力機関の役割をさらに高めていく必要がある。また、人民民主主義国家を人民の人民による人民のための法治国家へと、徐々に改善していかなければならないと考えている。党指導下の集中原則に沿って、立法、行政、司法の間の責任分担体制を実施し業務を明確にする。当面は、「県を戦略単位に、郡を全分野における強力な単位に、村を開発単位に構築する」という指導方針を実現させる。各級の国家権力機関と全公務員は、人民に仕え国益や人民の利益に尽くすという理想的観点を持たなければならない。そして誠意を持って迅速に人民にサービスを提供する。一方、職権を利用して人民を抑圧したり汚職を行ったりしてはならない。法律に沿った国家、経済・社会管理の強化が必要であり、社会生活全体を厳格に憲法と法律の下に置き、市民の民主的権利と公正な利益を保護するとともに積極的に推進する。

第 1 に、多民族人民の権利と利益の代表機関であり、立法機関である国会の役割を一層高めなければならない。特に、行政機関や司法機関への検査を深く、全面的かつ効果的に行う。国家行政機関については簡素化、合理化、効率化を実施し、党路線・決議や国会が承認した法律を具体化し、効果的に執行するようにする。また、地方行政機関と協力し、「県を戦略単位に、郡を全分野における強力な単位に、村を開発単位に構築する」という指導方針を実現する。さらに今後は、市場経済に適さない政策、メカニズム、法規、規則等は断固廃止し、迅速にサービスを受けられるワンドア・サービス・システムを全面的に展開する。官僚主義的行政事務や、各級の幹部職員が個人的利益を追求し、職権を乱用できる抜け道を断固として取り除く。

民族間、階層間、性別間、宗教間の団結と融和を強化し、党を軸に人民の大団結を構築することは、革命の勝利とともに政治体制の安定とわが国の存続にとって決定的に重要である。

したがって、党の統一戦線業務を強化し、国家建設戦線と大衆組織の役割

をこれまで以上に力強く発展させなければならない。この業務は長期の戦略的任務のひとつである。もっとも重要なのは、党や国家の路線と政策、業務計画に関する情報を得られる環境を形成し、大衆が党や国家の業務に参加するよう領導することである。

人民の団結と融和の構築において、党はつねに在外ラオス人をその一員とみなしている。したがって、愛国心を持ち、故郷を愛し、国を思い、国内のラオス人と協力し、知力、体力、資本によって祖国建設に参加する者を喜んで受け入れる。

わが党は、各種社会組織や職業組織が経済・社会開発に貢献し、構成員の利益に応えるとともに、貧困者や機会に恵まれない人たちなどに対して社会補助や支援を行う活動を推進する。また社会が団結し、融和し、幸福であるために、信仰／不信仰の自由とともに、憲法や法律に沿ったその他の社会活動の自由を尊重する。

平静で安全な環境を構築し秩序を保つことは、開発の成功にとって必要な基礎的条件である。したがってわれわれは、民衆の全面的な国防・治安維持路線を継続し、国防・治安維持業務を経済・社会開発や対外協力と結びつけなければならない。同時に、平和、独立、友好、協力の外交路線を堅持し、相互尊重、相互利益という原則にもとづいた全方位、多国間、多様なレベルや形式による対外協力関係を促進する。

一方われわれは、社会主義国との友好、団結、協力関係の強化を堅持する。なかでもベトナム社会主義共和国との特別な団結と全面的協力関係を維持・促進する。そして全面的かつ長期的な戦略的協力関係という精神のもと、中国との伝統的関係を発展させる。また ASEAN の活動に積極的に参加する。

これまでの実践が示しているのは、党指導が革命の成功と勝利にとって決定的な要素だということである。新体制が安定し着実に発展し続けるかどうか、

社会主義の方針に沿った国家建設が成功するかどうかは、全体の状況や改革の需要に適合するよう、党が国家の領導勢力としての役割や能力を向上できるかどうかにかかっている。つまり、党建設は国防と国家建設にとって死活問題なのである。

今後、党建設は以下の目標と総合方針を達成しなければならない。労働者と国家の利益の代表であるとの本質を堅持する。時勢に沿うよう自らを改善し、人民と国家の繁栄のために権力を掌握する。力強い組織を持ち、精神と行動を統一させて団結し、緻密な管理や厳格な紀律を持ち、科学的、創造的、また実用的な指導様式を持つ党となる。党、国家機関、幹部職員や党員の汚職や否定的現象を防止し撲滅することで、厳格で断固たる意思を持った清廉な党となる。

以上の目標や総合方針を実現するため、われわれは以下の業務を執行する。

1. 政治・思想分野における党建設を強化し、理論研究業務の改善に専念する。

路線が国家開発の需要に適合するよう修正し、党の実際の指導活動に対して方針を与え、各種問題を正しく解決するために、常に実践から教訓を学び、また、刷新路線を堅持するとともに、教条主義、原初主義、主観主義、急進主義、そして現状や刷新の原則を把握しない思想に反対することで、引き続きマルクス・レーニン主義理論と社会主義の理想を断固堅持し、マルクス・レーニン主義の基本原則を研究し、把握し、国家の実際の状況に適合するよう創造的かつ適切に活用する。党員の政治的資質と知識や能力を一層高め、党全体が社会主義の理想に対して自信を持ち、どのような試練に対しても揺るがないようにする。

人民民主主義体制の修正や路線にかかわる理論・実践研究において、さらに能力を強化し、徐々に社会主義に至るための初期諸要素を構築する。同時に、党の路線や政策を定める際の基礎的理論となるような諸問題について研究する。たとえば、市場メカニズムの活用という条件下における党の本質や領導性の維持・拡大に関する諸問題、グローバリゼーションや国際統合の時代における持続的な国家建設、団結・調和、民主的かつ公正で文明的な社会の建設、党内や社会における民主の拡大という問題である。

今後は理論・実践研究プロジェクトを再度見直し、業務の要望に応えられ

る能力のある職員を組織する。理論・実践研究機関が集中的に業務を管理・指導し、より良い研究が行えるようレベルを向上させる。

以上の理論・実践研究とともに、社会の思想を適宜かつ全面的に指導するため、党指導や実際の状況において生じる問題を説明し、解決できるよう政治・思想事業の内容や実施方法を改善し質を向上させる。今後は、党路線や政策に関する知識を向上させ、党の伝統、本質、理想を発展させるとともに、実施において統一的な思想や見解を持つために政治・思想研修に配慮しなければならない。また、道徳と生活様式の後退防止に特別の注意を払わなければならない。新たな条件に適合する理論を開発するとの方針に沿って、マルクス・レーニン主義理論を学習し、教条的で極端な思想から党路線を守る。政治理論カリキュラムや学校での政治・社会科目を実際の状況に適合するよう改善し、それを民間学校でも義務科目とする。新しい時代の要請に適合するよう政治思想業務関連組織の質を向上させ、同業務への予算を増加する。

2. 党組織を強化し党内の統一的団結を高める。民主集中原則を堅持し、党内規律を厳格化するとともに党内民主を拡大する。

党内民主は党内の活性化を担保し、また党内の統一的団結を保証する要素でもある。したがって社会における民主主義促進のモデル、推進力、指針となるよう党内民主を促進する。すべての党員が情報を得る権利、議論や問題決定に参加する権利、自身の意見を維持するとともに民主的な協議体制や環境を作る権利など、党規約で定められた諸権利を完全に行使できるよう保障する。

民主の拡大促進は、民主集中原則の厳格な執行とともに進めなければならない。それは各種問題を幅広く協議するが、合意後は党決議にしたがって執行することであり、個人は組織に、下級は上級に、各級の党委員会と全党は党中央執行委員会の決議にしたがって執行しなければならないということである。

職員や党員の評価や種類分けを常に行い、批判・自己批判を厳格に行う。党員検査における大衆参加、また党員への意見提出に関する規則やメカニズムについて研究する。質を重視することで党を拡大し、党幹部が活力ある若者により構成されるようにする。

すべての業務分野、経済部門、地域を覆うような強固な党基層を建設するため、党基層組織に関する規則がより詳細かつ明確になるよう改善する。また、

書記の責任を高め、書記が思い切った創造力を発揮し、行動し、責任をとれるようにすることで、各級の党委員会を改善する。

3. 指導様式の改善、党の権力掌握能力の向上

党の理想と目的が実現するよう指導様式を改善する必要がある。この新しい条件下において、たとえば党の路線と組織を通じた指導活動、大衆路線に沿った指導や動員、党員や党組織の領導という伝統的な指導様式を堅持し拡大するとともに、実際の、科学的かつ民主的な指導様式を強化する。それは官僚主義、表面的な実施、責任の欠如、紀律違反、個人主義、血縁グループを形成するという思想に対し、主体的に反対することである。

われわれは、権力掌握と党指導が法律に適合しなければならないことを理解する必要がある。党は指導を放棄しない一方、国家に代わって業務を実施するのではないという原則を確実に執行する。党は国家管理における国家の主体性や創造力、また責任感を高めなければならない。わが党は、重要かつ大きな国家問題についての路線や見解を定めることを通じて、社会全体を領導する。そして、党の路線や政策を憲法や法律、計画、国家活動方針に転換すること、人民の人民による人民のための法治国家や、清明で力強く権威があり効率的な国家を建設すること、国家の要職に幹部を適切に配置すること、また、検査を通じて国家を領導する。

今後は、党の国家権力機関に対する指導、ならびに各級党委員会の同級国家機関への指導についての原則、内容、メカニズムを詳細に定めた法規を積極的に研究し、制定しなければならない。また党内が緻密に管理され、党指導活動が法的基礎を持ち、法に沿って実施されるよう、党指導活動管理に関する必要な規則の制定を研究する。

もうひとつの重要分野は、党決議の研究と公布体制、政治局や書記局による党中央執行委員会への報告体制、党委員会による党員会議への報告体制、党常務委員会による同級の党執行委員会への報告体制を改善することである。また、すべての段階に大衆や大衆組織が参加できるメカニズムが持てるよう、各級の党内選抜や選挙体制を改善する。同時に、党内民主の拡大、各級で重要決定を行う際の協議体制や投票体制に関する規則を制定しなければならない。

さらに、党指導活動において主体性と創造性を高めることも、指導様式の

改善における重要事項である。各級の党委員会、特に党書記とすべての党員は業務において模範となり、勇気を持って考え、行動し、責任を負わなければならない。また、党内の一致団結のために批判・自己批判を実施しなければならない。

4. 検査業務を改善し強化する

清明で強く安定した党を建設するため、われわれは検査業務の質とともに、検査職員の能力を向上させなければならない。組織や個人、実際の業務への検査など、体制や規則およびメカニズムを緊急に研究し、定める必要がある。組織間の検査、組織による個人への検査、また下級による上級への検査メカニズムは体系的に常時実施されなければならない。党と国家による検査、そして人民による検査を適切に結びつけ、大衆が検査業務に主体的に参加できる条件を整えなければならない。

各級の党委員会は、日々の検査と批判・自己批判が党内の否定的事柄を防止するための重要な手段であることを理解しなければならない。上級の党委員会は模範となり、自身の指導管轄内の党員や職員を常に検査しなければならない。同時に、上級の党委員会は、下級が上級党委員会の指導に対して意見をいえる体制を整える必要がある。また、組織や大衆が党員の活動を検査し、評価できるような体制を実施する。

5. 党管理と防衛業務を改善する

政治路線を防衛し、指導組織、党組織、党員が人民と国家の利益に従事するようにする。党員は法律や党規約に沿って行動する。顕著な功績を挙げた個人に対する顕彰政策を実施し、違反者には厳格に対応する。党規約や国家の法律、また、党員や職員の品行に違反した者は適宜処罰を受けなければならない。

6. 職員業務と質の良い幹部職員の育成

知識や能力、また道徳心がある。政治的本質を有し国家と党の任務に忠誠である。純粋な心で国家と人民に従事し、清明で進歩的な生活様式を維持する。自己を鍛錬する忍耐力を持ち勤勉に学習する。組織や紀律への意識を持ち、法や党規約を厳格に遵守する。新しい条件下においては、以上のような資質を備

えた幹部職員が一層必要となる。そして、一枚岩の団結心を持ち、党路線と高度に一致し、問題解決における責任と創造力、実際に近い見解を持ち、業務の成功に向けて奮闘する戦略的指導層の形成に注力する。

また、今後は基層の力を向上させるため、大卒者や各種職業訓練学校修了生を基層に派遣し、育成する政策を研究しなければならない。それは、実際の過程から若い人材を育成することであり、知識を拡大することでもある。

職員の評価、選抜、任命において集団の意見を取り入れ、競争的で民主的な体制を執行する。道徳心や能力を職員選抜の際の原則とする。実際の業務成果や大衆の意見や信頼を、職員評価や選抜の際の重要な要素とする。また道徳心や任務に即した能力を持ち、試練を乗り越えて功績を収めた者を積極的に活用し、業務を付与して昇格させる。業務に必要な資質を無視し、縁故や地縁、仲間同士による職員の選抜や活用は行わない。能力や信頼に欠ける職員は積極的に異動し、徳に欠け重大な間違いを起こし、党や国家の役割に多大な損失を生むような職員は適宜職位から外す。

給与や手当、公務員、軍人、警察官に対する物資や精神面における政策を改善し、新しい条件下の生活水準に見合うようにする。国境地域や遠隔地、困難な地域で勤務する職員に対して適切な政策を定める。年金取得者への政策を改善し、彼らが適切な生活を送り、政治生活に参加し、健康や精神的な安らぎを得られるようにする。

社会科学研究院、政治・行政学院、各大学の基礎インフラを改善し、これらの機関が理論・実践研究において能力を向上させ、国家開発への政策や方針を提言できるようにする。

わが国は現在、グローバリゼーションや世界的な統合の進展により、環境の変化が激しいなかで開発を進めている。今後のわれわれの歴史的使命であり重大な責任は、新しい時代の政治的任務に見合うよう指導能力を向上させることである。それは貧困問題を基本的に解決し、多民族からなるラオス人民が満ち足りた生活を送り幸福になることであり、2020 年に国家を最貧国から脱却させ、国家が社会主義的目標に至るという道に沿って着実に進むことである。

党は、国を愛する国内外のすべてのラオス人や全階層に対して、国家の総合力を発展させるため、党の下で一枚岩的団結を強化するよう望む。また、刷新路線に沿って2つの戦略的任務を執行し、これまで以上に新しい大きな成果を生み出し、人民民主共和国が強固で、人民が幸福で、社会が融和的に団結し、民主的で、公平で、文明的な国家を建設するよう願っている。

以上